

令和2年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画(案)

1年 p.2~15

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	づ音く楽り	鑑賞
<導入> どんなうたがあるかな ~ 「かたつむり」 (7時間扱い・4~5月) ※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

※1年<導入>部分の評価については、全学年の評価規準と同様の表記に統一しているが、入学直後の児童の状態を把握していきながら、緩やかに指導を進めていくことが肝要である。

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】

1. どんな うたが あるかな
 - ・見開きの挿絵を見て、どんな歌が隠されているか探し、曲の気分を感じながら楽しく歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら歌ったりする。
 - 【主-①】 歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
 - 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。
2. おんがくに あわせて あるこう (◎ゴー アンド ストップ)
 - ・始まったり止まったりする音楽を注意深く聴き、強弱や速度の変化にも気付けるようにする。
 - 【思-①】 「ゴー アンド ストップ」の、拍、速度、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見い出して聴いている。
3. うたに あわせて かもつれっしゃに なって あそぼう (「かもつれっしゃ」)
 - ・汽車になったつもりで、拍に合わせて体を動かしながら歌い遊ぶ。
 - 【思-②】 「かもつれっしゃ」の拍や速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。
4. おんがくに あわせて からだを うごかさう (◎サンダーバードほか)
 - ・それぞれの音楽の拍などを聴き取りながら、音楽に合わせて体を動かす。また、どうしてそのような動きをしたかを交流する。
 - 【思-③】 それぞれの音楽の、拍、速度、旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見い出して聴いている。
5. うたに あわせて おはなに なって あそぼう (「ひらいた ひらいた」(共))
 - ・拍に合わせて動きながら歌ったり、歌詞に合った歌い方や遊び方を考えて歌ったりする。
 - 【知-①】 「ひらいた ひらいた」の曲想と、旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。
6. わらべうたで あそぼう (◎わらべうた)
 - ・鑑賞音源を聴いて曲の大まかな感じを捉え、歌詞や遊び方を知り、教え合って遊ぶ。
 - 【主-②】 わらべうたを歌ったり、うたに合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
7. うたに あわせて みぶりで あそぼう (「かたつむり」(共))
 - ・歌詞の表す情景や気持ちを想像し、付点のはずむリズムを感じながら、曲想に合った歌い方や身振りを考えて歌う。
 - 【知-②】 「かたつむり」の曲想と、拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
リズムと なかよし (6時間扱い・6~7月)	(1) 曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。				○
	(2) リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) 拍に合わせていろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムに親しむ。	主体的に学びに取り組む態度	拍に合わせていろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、リズムやその反復との関わりについて気付くとともに、拍に合わせて表現する技能を身に付ける。	ぶん ぶん ぶん しろくまの ジェンカ ◎ジェンカ	○「たん」「うん」の手拍子や手合わせを取り入れながら、拍ののって「ぶん ぶん ぶん」を歌う。 ○ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。 ○鑑賞曲「ジェンカ」に合わせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。 ○「しろくまの ジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【知-①】 ジェンカの曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 拍に合わせてリズム表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

2	リズムの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	☆たんと うんでリズムをつくろう	<p>○「たん」と「うん」のリズム打ちでまねっこしながら音遊びをする。</p> <p>○「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。</p> <p>○4人ぐらいのグループでつなげて発表する。</p> <p>○体のいろいろなところを打ってリズムを表現する。</p>	<p>【思-①】 リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>【技-②】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。</p> <p>【知-②】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</p>
1	いろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	わくわく キッチン	<p>○料理の様子を思い浮かべながら、「わくわくキッチン」を歌う。</p> <p>○「たん」と「たた」のリズムを意識しながら、拍にのって歌う。</p>	<p>【主-②】 拍に合わせていろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	づ音く楽り	鑑賞	
<おとの スケッチ> ことばの リズムで あそぼう (2時間扱い・7月)	(1) 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	(2) リズムや音色などを聴き取り、それらの働きが生み出す面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(3) 言葉とリズムとの関わりや、打楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズムや音色などを聴き取り、それらの働きが生み出す面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】
1. 身の回りにおけるいろいろな音や様子を表す言葉を見つけ、合わせてリズム打ちをする。 身近な小物打楽器について知る。(タンブリン、カスタネット、鈴) 【主-①】 言葉とリズムとの関わりや、打楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2. つくったリズムを楽器で演奏して試しながら選び、友達とつなげる。 【知-①】 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【思-①】 リズムや音色などを聴き取り、それらの働きが生み出す面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	づ音 く楽 り	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「うみ」(共通教材) (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	(2) 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】
1. 範唱を聴き、旋律のもつリズム、3拍子の流れ、フレーズを意識しながら歌う。 2. 歌詞が表している様子や気持ちについて話し合っ歌う。(言葉から情景を十分に想像する。 【知①】「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【主①】「うみ」の歌詞の、情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 3. 3拍子の流れにのり、気持ちをこめて歌う。 【技①】思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思①】「うみ」の拍(3拍子)や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音く楽り	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
どれみと なかよし (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わり気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わり気付いている。				○
		知識・技能	音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。					○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と音階などとの関わり気付くとともに、階名で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎どれみの うた どれみの キャンディー	○「どれみの うた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。 ○「どれみの うた」を、音高に合わせて体を動かしながら聴く。	【主-①】 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わり気付いている。
2	階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けるとともに、音階、旋律、変化などを聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。	どれみの キャンディー	○「どれみの キャンディー」の最後の部分に合わせて、< どれみの たいそう>をしながら歌う。 ○「どれみの キャンディー」に合った動きや歌い方を工夫して歌う。	【技-①】 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。 【思-①】 「どれみのキャンディー」の音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	づく く楽 り	鑑賞
<こんにちは けんぱんハーモニカ> (2時間+毎時 9~10月)	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。	<input type="radio"/>		
			鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。	<input type="radio"/>		
	(2) 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	<input type="radio"/>		
	(3) 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	<input type="radio"/>		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】

1. どんな おとが するかな
 - ・息を吹き込む ・試してみよう①音の高さ ・試してみよう②音の長さ ・試してみよう③息の強さ ・鳴き声をまねして遊ぼう
 - 【知-①】 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わり気付いている。
2. 「ど」のおとで あそぼう
 - ・「ど」の位置を確認～タンギングを覚える
 - ・「どこ どこ ど」で活動する
 - 【技-①】「ど」の鍵盤の位置，息のつかい方など基礎的な演奏技能を身に付けている。
 - ・「まほうの ど」を，伴奏に合わせて演奏する
 - 【思-①】「まほうの ど」の旋律，速度，リズムなどを聴き取り，それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲に合った表現を工夫し，どのように演奏するかについて思いをもっている。
3. 「どれみ」のおとで あそぼう
 - ・鍵盤の位置を確認する
 - ・「あのね」で活動する
 - 【主-①】 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味を持ち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4. 「どれみふあそ」のおとで あそぼう
 - ・5本の指の動きを確認する
 - ・「どんぐり ぐり ぐり」を演奏する
 - 【技-②】 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふあそ」の鍵盤の位置，息のつかい方など基礎的な演奏技能や，思いに合った表現をするために必要な，リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
もりあがりを かんじて (2時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
		知識・技能	思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と旋律や音階、歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を感じ取って表現を工夫する。	ひのまる (共通教材)	<ul style="list-style-type: none"> ○「ひのまる」を歌詞で歌う。 ○体を動かしながら階名唱する。 ○旋律のまとまりを感じ取って歌う。 ○もりあがりを感じながら歌う。 	<p>【主-①】 「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 「ひのまる」の旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>【知-①】 「ひのまる」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p>

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
いいおと みつけて (7時間扱い・11~12月)	(1) 打楽器の音の特徴や、音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	打楽器の音の響きの特徴や、音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○	○
	(3) 打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付く。	☆いろいろな おとを みつけよう	○トライアングルで自由に音を出したり、音探しをしたりして、グループ内で一番お気に入りの音を探して発表する。 ○いろいろな楽器で音探しをし、気に入った音の一つを選んで、言葉や絵で表現する。 ○お気に入りの楽器や音で「いい音リレー」をする。	【思-①】 音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【知-①】 打楽器の音の特徴や、音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。

4	<p>音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取る。</p>	<p>☆がっきの おとで よびかけっこしよう</p>	<p>○楽器の音で友達と呼びかけたりこたえたりする。 ○グループごとに楽器の音で呼びかけっこする。 ○4分音符や8分音符で自分のリズムをつくり、つくったリズムを楽器で呼びかけたりこたえたりしてつなげる。 ○「こうしんきょく」を、呼びかけとこたえに着目して聴く。</p>	<p>【思-②】 音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。</p> <p>【主-①】 打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【技-②】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。</p> <p>【思-③】 「こうしんきょく」の音色や呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。</p>
---	---	----------------------------	---	---

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<おとの スケッチ> ねこの なきごえで あそぼう (3時間扱い・12月)	(1) 声の高さや強弱、様々な声の出し方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	声の高さや強弱、様々な声の出し方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 声の高さや強弱、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	声の高さや強弱、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】
1. 挿絵からいろいろな鳴き声を考える。 2. 猫語でお話しをする。 【知-①】 声の高さや強弱、様々な声の出し方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 3. グループで猫語でお話しする。 【思-①】 声の高さや強弱、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 4. 「2ひきのねこのゆかいなうた」を聴く。 【主-①】 いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音 く楽 り	鑑賞
		知識	思考・判断・表現				
きよくの ながれ (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おどる こねこ	○拍の流れや、鳴き声に合わせて体を動かしながら、「おどる こねこ」を聴く。 ○「おどる こねこ」の曲の進み方を知る。	【主-①】 「おどるこねこ」の、曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「おどるこねこ」の曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。
1	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなど生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎おどる こねこ	○曲のよいところ、面白いところを見つけながら、「おどる こねこ」の曲全体を聴く。	【思-①】 「おどるこねこ」の、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	づ音く楽り	鑑賞
<めざせ がっきめいじん> 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
		思考・判断・表現	思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。		楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】
1. 範唱を聴き、曲想を捉えて歌う。 【知-①】 「すずめが ちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。 2. 鍵盤ハーモニカで演奏する。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。 3. 鳴き声に合った音の長さで演奏する。 【思-①】 「すずめが ちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【主-①】 「すずめが ちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	づ音く楽り	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
うたで まねっこ (4時間扱い・1~2月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現に必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。		○				
	(2) フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱 めい や時 す数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	もりの くまさん	○「もりのくまさん」をいろいろな強さを試しながら交互唱する。 ○1~5番それぞれの歌詞の内容を考えながら、どのように歌うか意見を出し合って試す。	【知-①】 「もりのくまさん」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けるとともに、交互唱の面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	フルーツ ケーキ	○「フルーツケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 ○歌う強さをまねたり、違う強さで歌ったりして交互唱する。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 フレーズと呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「フルーツケーキ」の曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
		知識・技能	思考・判断・表現				
みんなで あわせて (3時間扱い・2~3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わり気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わり気付いている。	○			
		知識・技能	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	
	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。					○
	(3) 音楽が表している情景を想像しながら聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音楽が表している情景を想像しながら聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、曲想とリズムなどとの関わり気付く。	おもちゃの チャチャチャ ☆リズムを かさねて あそぼう	○「おもちゃの チャチャチャ」を、曲の気分を感じ取り、歌詞の表わす様子を考えながら、リズム打ちして歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。	【知-①】 「おもちゃのチャチャチャ」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わり気付いている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。
1	拍やリズムなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴くとともに、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おもちゃの へいたい	○「おもちゃの へいたい」を、拍や旋律、楽器の音に気を付け、体などを動かしながら聴く。 ○「おもちゃの へいたい」の、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【主-①】 「おもちゃのへいたい」の音楽が表している情景を想像しながら聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 「おもちゃのへいたい」の拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	づ音く楽り	鑑賞
<おとの スケッチ> ほしの おんがくを つくろう (4時間扱い・3月)	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。		○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。		○	
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。		○	
(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律や音の重なりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ / 【学習活動に即した評価規準例】
導入 音楽ゲームをする。 1. 「きらきらぼし」を歌ったり、楽器で演奏したりする。 2. 「きらきらぼし」を2小節ずつ交代しながら鉄琴と鍵盤ハーモニカで演奏する。 3. 「どれみのせいざ」で星の音を選び、自分の旋律をつくる。 【知①】 つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【主①】 短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 4. 友達とリレーする。 【技①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思①】 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。